地方版IoT推進ラボ　アンケート調査

はじめに

現在、地球上にあるすべてのモノをインターネットにつなげてしまおうとする「IoT（Internet of Things：モノのインターネット）」が急速に進んでいます。インターネットがモノとモノをつなぎ、あらゆる世界が身近になった社会において、いたるところでセンサーがデータを吸い上げ、そのデータが様々な形で活用されています。

それは「過去に描いた未来」が到達しているかのようです。  
  
IoTの目的はモノをインターネットにつなげるだけではなく、収集したデータを分析し、将来を予測することで、社会や家庭のあらゆるシステムを自動的に効率よくするところにあります。

そのためIoTを使ったサービス企画では、デバイス・ネットワーク・データ分析・セキュリティなどの包括的な知識が必要となりますが、それらの知識を習得した人材が不足しているのが現状であります。

また地域再生にIoTの活用をしたい自治体・団体の期待とは別にIoTの理解不足や誤解があることも事実です。

自治体としてIoTの普及が進むことが重要と認識をしていながら、地域の人材が育っていない、技術者の不足が著しい、またパートナー企業が地場で見つからないなどと、課題も多く見かけるようになりました。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）の「地方創生IoT支援研究会」では、IoTで地方創生に取り組む地域に対してIoT人材育成や教育支援、また全国に拠点を持つ会員企業と一緒に地域のサポートを目的にアンケートを実施する運びとなりました。

地域のIoT担当者様におかれましては、ぜひ奇譚のないご意見を頂ければ幸いです。

どうぞ宜しくお願い致します。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

地方創生IoT支援研究会　主査　　近森　満（株式会社サートプロ　代表取締役CEO）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

地方創生IoT支援研究会

ご記入いただいたアンケートはメール添付にてCSAJ事務局（[gyoumu1@csaj.jp](mailto:gyoumu1@csaj.jp)）までご返送ください。メール添付が困難な場合は、出力をFAXにて 03-3560-8441　まで送信してくださいますようお願いいたします。

送信期限：平成30年１２月１２日（水）

【回答者情報】

|  |  |
| --- | --- |
| IoT推進ラボ名 |  |
| 企業・団体 |  |
| 部署名 |  |
| 役職 |  |
| 名前 |  |
| メールアドレス |  |

※ご提供いただいた個人情報は、CSAJからの各種ご連絡（セミナーご案内等）に使用させていただき、本目的以外に一切使用しません。また、本人の書面等による明示的な同意なく、第三者に個人情報を提供することは一切しません。

CSAJプライバシーポリシーはこちらをご参照ください http://www.csaj.jp

Q１．　ＩｏＴへの取り組みをはじめてどのくらいが経過していますか？

□未実施　　□半年　　□１年　　□２年　　□３年以上

Q２．　地域のどの産業分野にIoTが有効と考えていますか？（３つまで）

□製造業　　　□農業,林業　　　□医療,福祉　　　□情報通信業　　□卸売業,小売業

□運輸業,郵便　　□電気・ガス・熱供給・水道業　　□生活関連サービス業,娯楽業

□金融業,保険業　　□建設業

□その他

Q３．　本アンケートにご回答いただいている方から見て、貴地域の住民の「IoT認知  
度」について、どのようにお感じですか。

* 浸透している　　□　やや浸透している　　□ あまり浸透していない

□　まったく浸透していない　　□　わからない

Q４．.現在、IoTを使った事業に取り組んでいますか？

□取り組んでいる　　　□企画している　　　□取り組みたいが進んでいない

□取り組んでいない

□その他

Q５.　Q４で「取り組んでいる」「企画している」とお答えの方にお聞きします。具体的な取り組  
み内容をお教えください。

Q６.　「取り組みたいが進んでいない」とお答えの方にお聞きします。何が原因で進んでいないのですか？最も影響が大きいと思われる2点をお選びください。

□予算不足　　□人材不足　　□パートナーがいない　　□時間がない

□アイデアがない　　□主体となる企業がない

□その他

Q７.　IoTを使った事業を進めるうえで最も深刻な課題はなんですか？  
一つお選びください。

□予算不足　　　□人材不足　　　□経験不足

□その他

Q８．IoTを使った事業を進めるうえで支援が必要と思われることはなんですか？

最も当てはまるものを一つお選びください。

□技術的支援　　　□金銭的支援　　　□人的支援

□その他

Q９．現在どういった「地場企業」がパートナーになっていますか？

□通信事業者（ケーブル局含む）　　□ソフトウェア会社

□コンサルティング会社　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q９-2：また、現在どういった大都市圏企業（支社・支店含む））がパートナーになっていますか？

□通信事業者（ケーブル局含む）　　□ソフトウェア会社

□コンサルティング会社　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q１０.　現在のパートナー企業に不足していることはなんですか？

最も当てはまるものを一つお選びください。

□技術力　　　□提案力　　□資金力　　□不足していない

□その他

Q１１.　IoTを理解・推進するためのセミナー等の活動を行っていますか？

□実施していない　　　□経営者向けに実施した　　□IoT技術セミナーを実施した

□アイデアソンやハッカソンを実施した

□その他

Q１２.　IoTを推進するための導入推進者育成や技術者育成に興味がありますか？

□興味がある

□興味がない

Q１３．IoTを推進するためにどういったスキルを持った人材を必要としていますか？いくつでもお答えください。

□事業を推進するリーダーとなる人材

□事業を構築するIoTを理解している人材

□事業の連携をするコーディネータ

□IoTを理解する営業・コンサル人材

□プログラマー

□AI・データサイエンティスト

□その他

Q１４. 　IoT/AIで支援できる技術者の派遣を希望しますか？

□派遣を希望する　　　□派遣を希望しない

Q１５．　自治体として積極的に地場企業以外の企業の参加を希望しますか？

□希望する　　　□希望しない

Q１６．　現在の自治体としての課題を上げるとしたら、上位３つを下のキーワードからご回答ください。（IoT事業に限定するものではありません）

＜キーワード＞

中小企業支援　　製造業支援　　人口流出　　高齢者対策　　企業誘致

第１の課題（　　　　　　　　　　　　　）

第２の課題（　　　　　　　　　　　　　）

第３の課題（　　　　　　　　　　　　　）

Q１７．　CSAJに対して期待することはありますか？

* 他企業との連携機会の創出
* 各種情報の共有
* 自社の取組みの拡散
* 導入事例の紹介
* IoTについて学ぶ機会の提供
* IT・IoT人材の育成
* 実証実験の実施
* 資金面での支援（補助金等）
* その他

以上でアンケートは終了です。  
集計結果はご回答いただいた方にフィードバックするとともに、CSAJホームページにて公開いたします。

ご協力ありがとうございました。